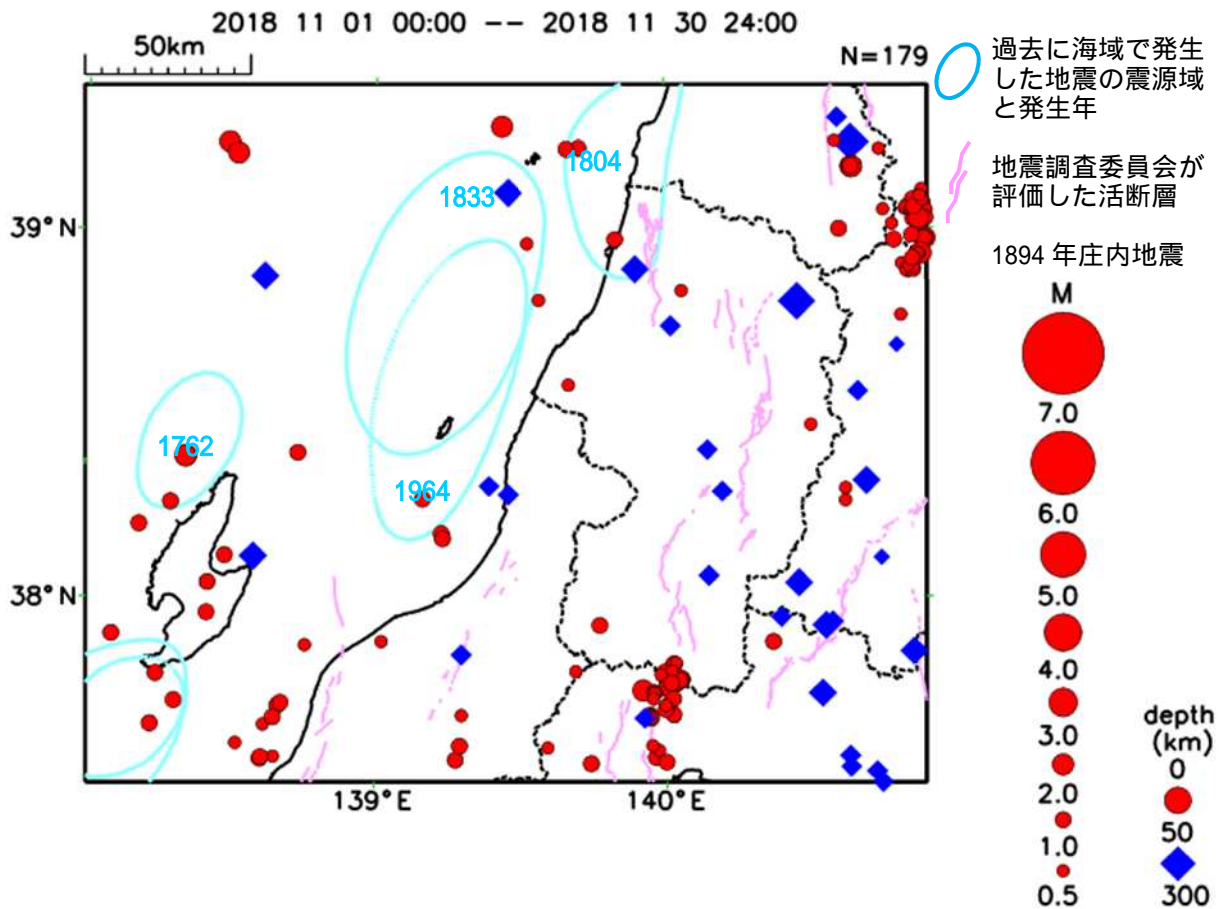


# 山形県月間地震概況 (2018年11月)

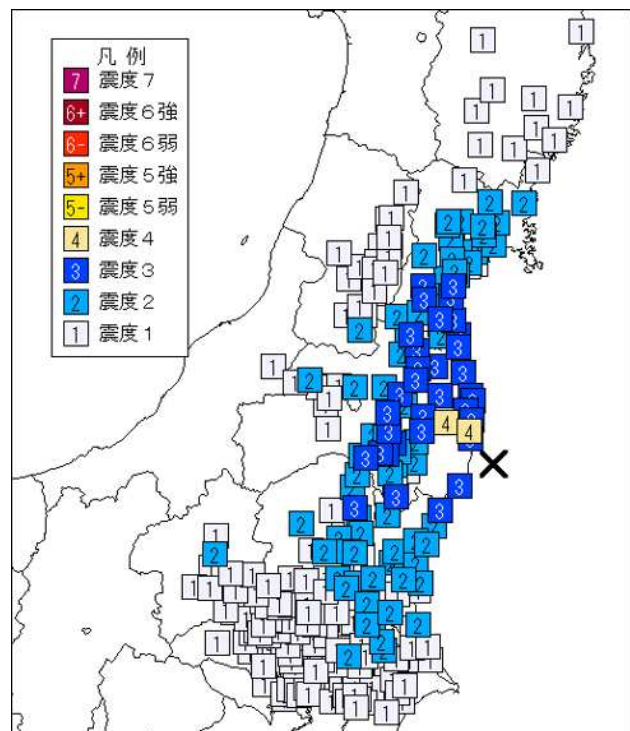
山形地方気象台



## 【概況】

この期間、山形県とその周辺(上図の範囲内)で観測した地震は179回であった。また期間中に県内で震度1以上を観測した地震は3回(前期間8回)であった。

23日23時30分に福島県沖の深さ50kmでM5.0の地震(右図)が発生し、福島県で最大震度4を観測したほか、東北地方と関東地方及び新潟県で震度3~1を観測した。県内では、米沢市で震度2を観測したほか、村山、置賜、最上で震度1を観測した。この地震は太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。

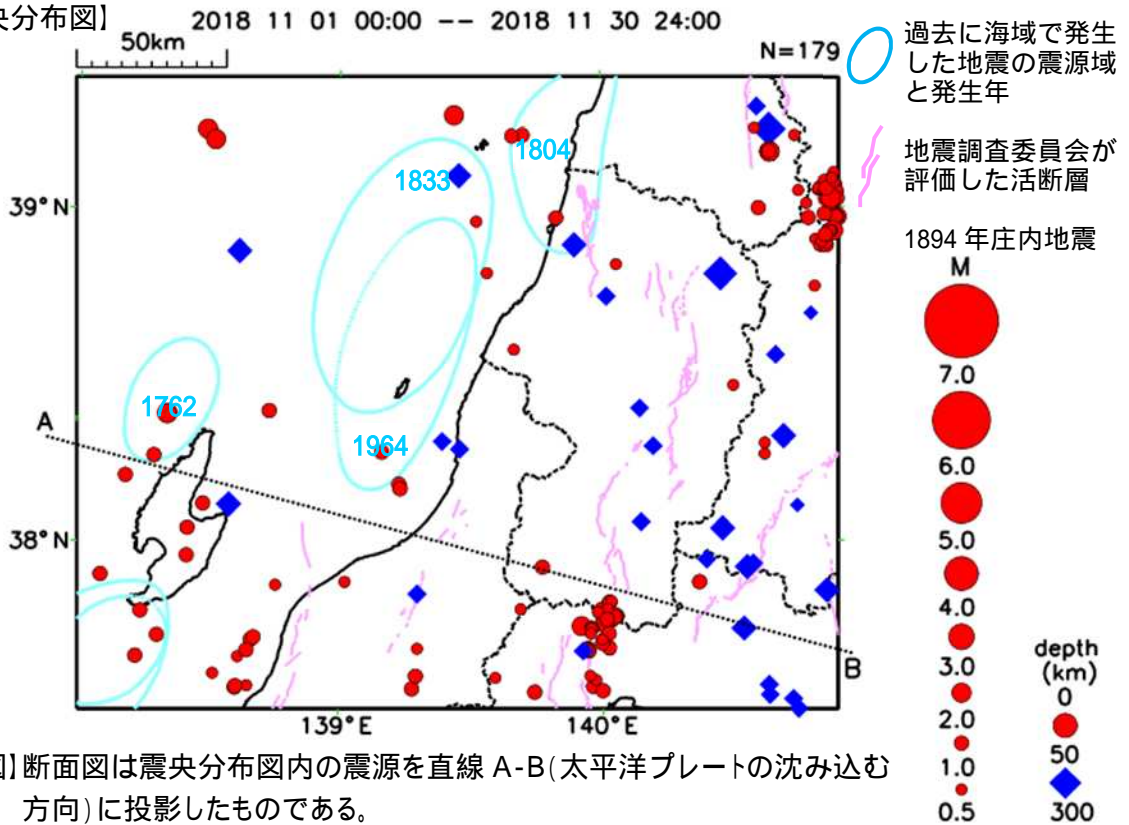


23日23時30分に福島県沖で発生した地震(M5.0)の震央(x)と市町村震度

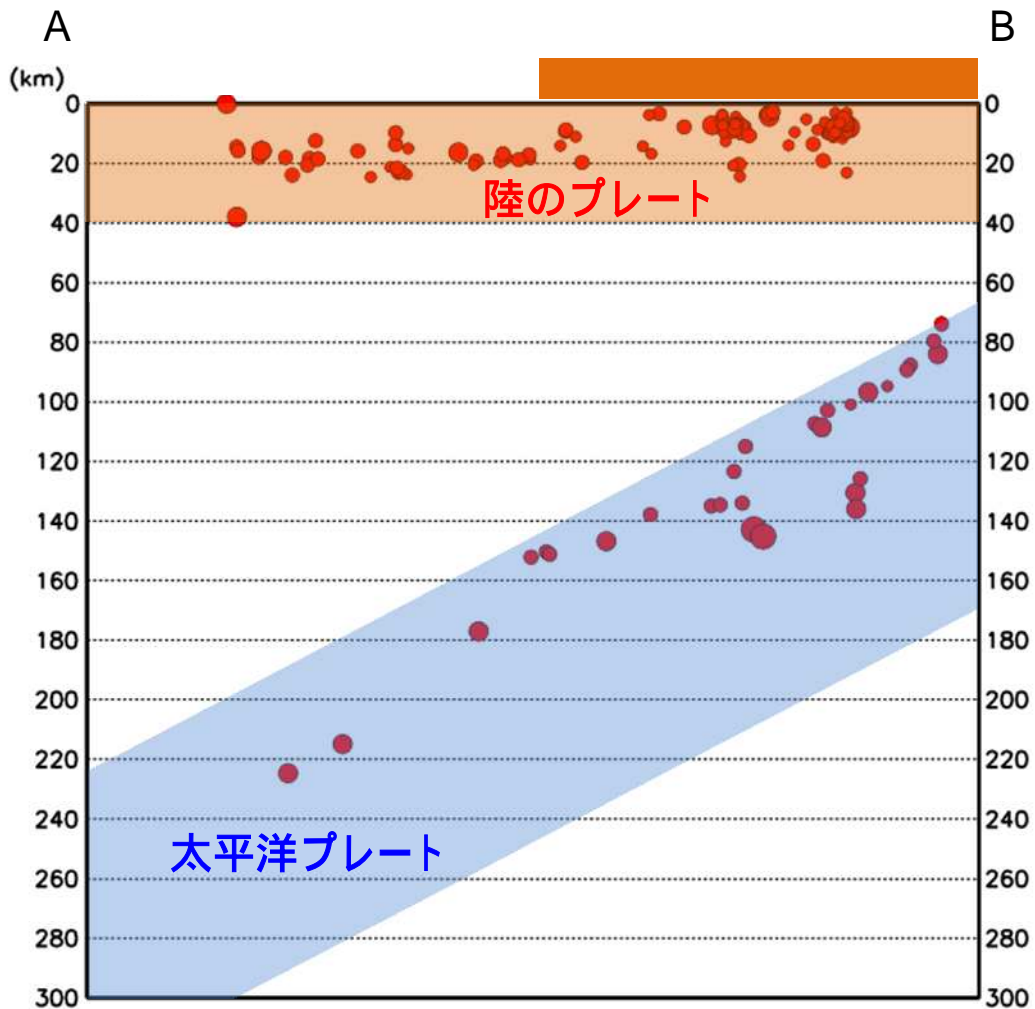
本資料では、地震の規模を示すマグニチュードを「M」として表記している。

山形県の各地の震度の詳細は、別紙「山形県で震度1以上を観測した地震の表」を参照。なお震源要素等は、再調査により変更することがある。

【震央分布図】



【断面図】断面図は震央分布図内の震源を直線 A-B(太平洋プレートの沈み込む方向)に投影したものである。



太平洋プレート及び陸のプレートの位置は、地震発生状況を考慮して描いた大まかなものである。

は陸地の大まかな位置を示している。

陸地から離れた海域ほど、震源の深さ精度は良くない。なお、沖合いの地殻内で発生する地震の震源は、実際はより浅いものが多いと考えられる。

## 山形県で震度 1 以上を観測した地震の表

今後の精査により、震源や震度のデータが追加されることがある。

期間 2018年11月1日～2018年11月30日

発震時	震央地名	北緯	東経	深さ	規模
各地の震度					
2018年11月05日03時02分	宮城県沖	38° 41.3' N	141° 52.1' E	64km	M4.1
山形県	震度 1 : 中山町長崎* 尾花沢市若葉町*				
2018年11月23日23時30分	福島県沖	37° 04.3' N	141° 10.3' E	50km	M5.0
山形県	震度 2 : 米沢市アルカディア 震度 1 : 最上町向町* 山形市薬師町* 上山市河崎* 村山市中央* 天童市老野森* 東根市中央* 山辺町緑ヶ丘* 中山町長崎* 河北町谷地 河北町役場* 西川町大井沢* 山形朝日町宮宿* 尾花沢市若葉町* 大石田町緑町* 米沢市駅前 米沢市林泉寺* 米沢市金池* 南陽市三間通* 高畠町高畠* 山形川西町上小松* 白鷹町黒鴨				
2018年11月27日08時33分	茨城県南部	36° 04.3' N	139° 51.8' E	44km	M5.0
山形県	震度 1 : 山辺町緑ヶ丘* 中山町長崎*				

(注) 地震の震源要素等は、再調査により変更することがある。

各地の震度は山形県のみを示し、\*は地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の観測点である。

本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成している。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成している。

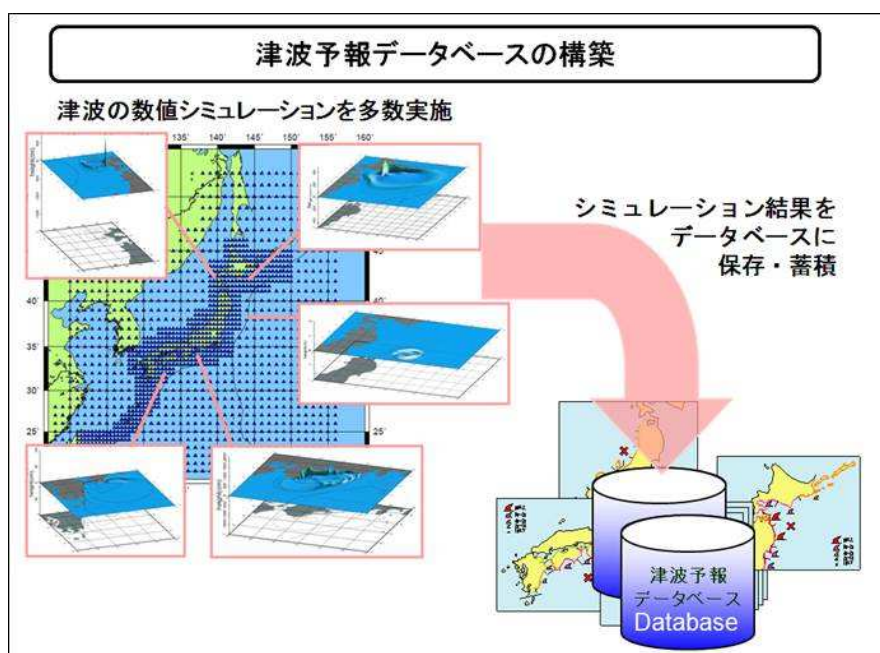
## 津波を予測するしくみ

気象庁では、地震が発生した時には地震の規模や位置をすぐに推定し、沿岸で予想される津波の高さを求め、地震発生後約3分（一部の地震については最速2分程度）を目標に、大津波警報・津波警報・津波注意報（以下、津波警報等という）を発表します。

日本近海で発生し、緊急地震速報の技術によって精度の良い震源位置やマグニチュードが迅速に求められる地震

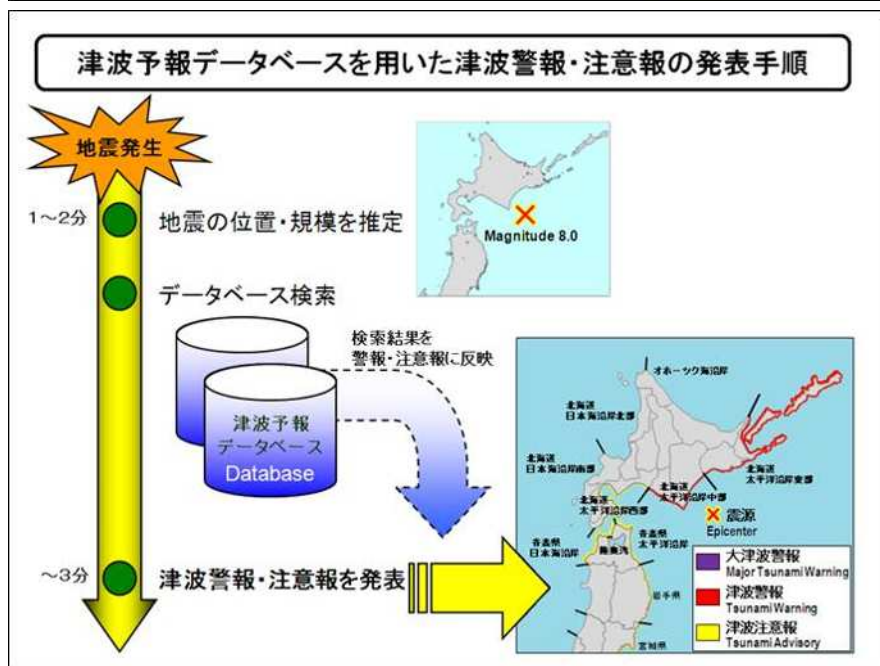
日本周辺では、規模の大きな地震が沿岸の近くで発生することがあります。その場合、津波は地震発生後直ちに沿岸に押し寄せますので、最新のコンピューターを用いたとしても、地震が発生してから津波の予測を開始したのでは、津波が到達するまでに津波警報等を発表することはできません。

そこで、あらかじめ、津波を発生させる可能性のある断層を設定して、津波の数値シミュレーションを行い、その結果を津波予報データベースとして蓄積しておきます。



実際に地震が発生した時は、このデータベースから、発生した地震の位置や規模などに対応する予測結果を即座に検索することで、沿岸に対する津波警報等の迅速な発表を実現しています。

震源が陸地に近い場合、津波警報等の発表が津波の襲来に間に合わないことがあります。海岸付近で強い揺れを感じた時は、津波警報等の発表を待たずに、すぐに避難を開始しましょう。



「津波を予測するしくみ」の詳細は、気象庁ホームページをご覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/svd/eqev/data/tsunami/ryoteki.html>